

11月25日(火曜日)
(第608号)(毎月25日発行)
平成20年(2008年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集人 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連時報



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

景気回復への総合的な経済対策、 木材産業対策の充実強化を 求める決議を採択

全国木材産業振興大会



決議を受け、決意表明する並木会長

な金融不安の発生という状況の中で開催された大会は、全国から七百五十名の関係者が参加し、木材産業の再興に向けて真剣な思いをこめて宣言を決議する大会となった。

大会はまず、角和憲福岡県木連会長から「開会のことば」があり、物故者に黙祷の後、大石駿四郎全木連九州支部長、熊本県木連会長が「歓迎挨拶」を述べて始まった。

次いで、大会会長の並木瑛夫全木連会長が挨拶を述べた。

来賓として、農林水産大臣(代理・島田泰助林野庁次長)、国土交通大臣(代理・越海興一木造住宅振興室長)、熊本県知事(代理・安田宏正副知事)、熊本市長(代理・森田弘昭副市長)から祝辞があったほか

多くの来賓が出席した。この後、大会宣言及び特別決議を横田欽一郎宮崎県木連会長が提案し、満場一致で決議した。この決議を受け、並木全木連会長が決議を実現するべく努めることを決意表明し、第一部の大会議事を終了した。

第二部の特別記念講演。熊本市文化財専門相談員の富田紘一氏に

大会決議の実現に向け要請行動を行う

大会で決議された事項の実現に向けて、全木連、各都道府県木連は大会後速やかに国会議員等に要請行動を行い、決議事項の早期実現を求めた。なお、決議事項は次のとおり。

- 一、安全・安心への期待に応え、JAS製品など信頼性の高い木材の普及・定着に全力を挙げよう
- 一、炭素を固定する木材利用推進減税、住宅ローン減税、森林吸収源対策の税制を実現しよう
- 一、景気回復に向けて総合的な追加経済対策を実現しよう
- 一、木造の住宅・公共施設等の着工増対策や林業・木材産業のセーフティネット対策等の充実強化を実現しよう

【特別決議】

- 一、住・生活空間への木材利用の拡大、木質バイオマスの活用・普及を推進しよう
- 一、違法伐採対策を前進させ、合法木材の普及・利用推進に取り組もう

- 旭日小綬章 市川総五郎(千葉)
- 旭日小綬章 橋本 博明(大阪)
- 旭日小綬章 細田 安治(東京)
- 旭日小綬章 三津橋貞夫(北海道)
- 旭日双光章 旭日双光章(愛知)
- 旭日双光章 下谷 勝彦(愛知)
- 旭日双光章 野村 昌弘(兵庫)
- 黄綬褒章 黄綬褒章(群馬)
- 黄綬褒章 三枝 直芳(徳島)
- 黄綬褒章 三枝 直芳(徳島)
- 黄綬褒章 三枝 直芳(徳島)

栄えの叙勲・褒章(20年秋)

(木材振興関係のみ掲載、敬称略)

前月号既報のとおり、第四十三回全国木材産業振興大会は、十月二十二日に熊本市において開催された。深刻な木材不況に加え、世界的

農林水産祭で木の良さをPR

日曜大工教室を開催



日曜大工教室は受付の1時間前から行列

農林水産省と(財)日本農林漁業振興会主催の平成二十年度(第四十七回)農林水産祭「実りのフェスティバル」が十一月十四日及び十五日の二日間、東京都江東区有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催された。天候にも恵まれて多くの入場者で賑わった。

農林水産祭は、農林水産省と、一般国民が共に収穫を喜び、農林水産業に対する理解と関心を高め、農林水産物の消費拡大を図るため、都道府県、中央・地方の農林水産団体が協力して毎年十一月に開催しているもの。

会場では、政府特別展のほか、農林水産団体の展示・即売と、都

日田十条(大分県)が天皇杯を受賞

平成二十年度の第四十七回農林水産祭林産部門で、大分県日田市の株式会社日田十条(代表取締役 瀬戸基彦氏)が天皇杯を受賞した。

これは、同社が、全木連等が主催した平成十九年度の第三十五回JAS製材品普及推進展示会において、農林水産大臣賞を受賞し、その実績が評価されたもの。

JAS展示会出品者の林産部門天皇杯受賞は、平成十八年度に次いで、これで七社目になる。受賞の式典は、十一月二十三日に東京で行われた。

受賞理由のポイントは、乾燥材生産と流通合理化で県産材需要拡大と山元への利益還元貢献である。

道府県による郷土農林水産物の展示・即売等が行われた。

このフェスティバルの林産部門として全木連が世話役となり、木材利用推進のPRの場所として、各種のパンフレットを配布するとともに、関係団体及び関係機関の協力を得て、次の催し物を行った。

参加団体(十三団体)

(財)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会、全国木材防虫JAS協議会、全国木造住宅機械プレカット協会、(財)日本合板検査会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、(財)日本

住宅・木材技術センター、日本特用林産振興会、日本複合床板工業会、日本木材防腐工業組合、(財)日本木材総合情報センター。

協力機関

日本日曜大工クラブ。

催しの内容

「日曜大工教室」

日曜大工クラブの会員が指導にあたり、踏み台、道具箱等あらかじめキット加工したものを製作した。無料とあって参加希望者が多く、人数制限をするほどの盛況であった。

木材需給見通しを下方修正 需給量は7653万5千³m

林野庁・需給対策中央協

林野庁は、九月三十日に木材需給対策中央協議会を開催し、今年

三月に策定した平成二十年の木材需給見通しの見直しを行い、今年の需給量について当初より、三百八十二万六千³m下方修正し、前年比七・二%減の七千六百五十三万五千³mとする見直しを策定した。

需要面では、新設住宅着工数が当初の予想以上に前年を下回るものと見込まれることから、製材用と合板用は当初見通し値を引き下げ、ともに前年比減少となる。その他用は集成材の需要減見通しから当初見通し値を引下げ、前年比

する。パルプ・チップ用については、ほぼ前年並みと見通されている。

一方、供給面では、国産材、輸入材とも前年比減少する。国産材は、ほぼ当初見通し値どおり、前年比一・三%減少の一千八百四十万一千³m。輸入材は、当初見通し値を引き下げ、前年比八・八%減少の五千八百十三万四千³mである。

輸入材では、丸太、製材、合单板、パルプ、その他とも前年比減少となった。チップは前年比増加である。

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで30年
中型グループ

従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に
	任意労災保障制度	労働災害への対策に
経営者のために 総合保障プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
	積立終身	経営者の退職金などの準備に

などの備えに
 ケガ・病氣入院

全国木材協同組合連合会
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
 TEL 03-3580-3215(代)

十月三十日に政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議において、新たな経済対策「生活対策」が決定された。現在、これに基づき補正予算措置の検討が進められているが、木材産業に関連するものとして、①中小企業等支援対策②国産材の住宅等への利用拡大対策等森林・林業活性化対策③住宅ローン減税の延長・拡充等が盛り込まれている。

新たな経済対策「生活対策」と緊急保証制度の開始

景気対策を目的とした政府の平成二十年度補正予算による事業のうち、林業・木材関連予算は六十七億五千万円。うち、交付金が六十六億二千万円で、木材関係としては木材・木質バイオマス利用促進緊急整備に四十一億二千万円。木質バイオマス燃料の利用促進のための施設整備や外材から国産材への原料転換をはかる施設整備を支援する。補助金は一億三千万円で、うち「がんばれ！地域林業サポート事業」(予算額一億円)については、当初予算で同事業を実施している全木協連が追加実施することとなった。同事業は、林業者等が高性能林業機械をリースで導入する場

リース事業など追加で実施 政府二十年度補正予算

合に、リース料の一部を助成するもの。準備が整い次第、申請の受付を開始する予定。
また「農林漁業セーフティネット資金利子補給事業」(予算額三千万円)についても全木協連が実施希望を出している(ただし未決定)。

(単位：千円)

木材(用材)の需給の継続と見通し

年次	需			要			供			給									
	総数	製材用	合板用	ハルブ・チップ用	その他用	総数	国産	材	工場残材	丸太	林地残材	丸太	製材	合板	人	材	チップ	ハルブ	その他
平成14年	88,127	34,856	13,226	(7,174) 37,607	2,438	88,127	16,077	15,982	95	(7,174)	15,982	14,865	13,694	8,502	8,502	24,791	8,101	2,097	
15年	87,191	34,766	12,810	(7,951) 36,979	2,636	87,191	16,155	16,012	143	(7,951)	16,155	14,398	14,088	7,897	7,897	24,337	8,022	2,294	
16年	89,799	35,041	13,976	(7,682) 37,981	2,802	89,799	16,555	16,434	121	(7,682)	16,555	14,329	14,468	8,587	8,587	25,112	8,292	2,456	(107.1)
17年	85,857	32,901	12,586	(7,974) 37,608	2,763	85,857	17,176	17,033	143	(7,974)	17,176	12,119	13,305	7,950	7,950	25,258	7,649	2,401	(97.8)
18年	86,791	33,032	13,720	(7,664) 36,907	3,131	86,791	17,617	17,480	137	(7,664)	17,617	12,152	13,464	8,537	8,537	24,594	7,675	2,753	(114.7)
19年	82,370	30,455	11,260	(7,293) 37,132	3,522	82,370	18,635	18,428	207	(7,293)	18,635	10,548	11,649	6,033	6,033	25,569	6,795	3,142	(114.1)
当初見直し	80,361	29,745	11,249	(7,592) 36,528	2,838	80,361	18,375	18,233	142	(7,592)	18,375	10,115	10,782	6,394	6,394	25,356	6,920	2,419	(77.0)
見直し	76,535	27,155	9,833	(7,052) 36,907	2,640	76,535	18,401	18,194	207	(7,052)	18,401	7,617	10,243	5,307	5,307	26,259	6,465	2,243	(71.4)

資料：平成14年～平成19年は林野庁「木材需給表」。

注：1.輸入材のうち、製材、合板、チップ、ハルブ及びその他は、丸太換算材額である。

2.本表中には薪炭材及びびしいは原木を含まない。

3.輸入の製造用集成材が需要のその他用、供給のその他に含まれている。

4.()内は、工場残材及び解体材・廢材を利用した木材チップの需給量(供給量)であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。

5.()内は、前年比(%)である。

6.数値の合計値は、四捨五入のため一致しない場合がある。

景況調査＝全木協
20年10月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕 モニター数135 回答数95 回収率70%

当月の状況

販売量	増加32% (30)	変わらず40% (38)	減少28% (27)
仕入量	増加27% (25)	変わらず38% (36)	減少35% (33)
販売価格	上昇16% (15)	変わらず81% (76)	下降3% (3)
仕入価格	上昇32% (30)	変わらず65% (60)	下降3% (3)

来月の見通し

販売量	増加16% (15)	変わらず53% (51)	減少31% (29)
仕入量	増加13% (12)	変わらず54% (51)	減少33% (31)
販売価格	上昇17% (16)	変わらず73% (69)	下降10% (9)
仕入価格	上昇23% (21)	変わらず69% (65)	下降8% (7)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	20% (17)	66% (54)	14% (12)
南洋材	20% (16)	72% (57)	8% (6)
北洋材	57% (46)	37% (30)	6% (5)
国産材	10% (9)	76% (67)	14% (12)
建材	38% (30)	44% (36)	18% (14)

乾燥材取引の頻度	増加 19% (17)	変わらず 81% (72)	減少 0% (0)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕 モニター数149 回答数119 回収率80%

当月の状況

販売量	増加25% (29)	変わらず56% (66)	減少19% (23)
仕入量	増加31% (37)	変わらず44% (52)	減少25% (29)
販売価格	上昇16% (19)	変わらず79% (93)	下降5% (6)
仕入価格	上昇46% (54)	変わらず49% (57)	下降5% (6)

来月の見通し

販売量	増加14% (16)	変わらず60% (70)	減少26% (31)
仕入量	増加22% (25)	変わらず57% (67)	減少21% (24)
販売価格	上昇9% (10)	変わらず84% (99)	下降7% (8)
仕入価格	上昇26% (30)	変わらず65% (76)	下降9% (11)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	29% (15)	61% (31)	10% (5)
南洋材	45% (18)	50% (20)	5% (2)
北洋材	74% (34)	22% (10)	4% (2)
国産材	23% (23)	61% (60)	16% (16)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 80% (16)	1ヵ月 15% (3)	1ヵ月以上 5% (1)
---------------	-------------------	----------------	-----------------

国産材製品のフェアを開催

全木連は、十一月十二日～十四日に、東京国際展示場で開催されたジャパンホームビルディングショーに出展し、「森林(もり)を育む木の住まい・国産材製品フェア」と「国産材新生産システム販路開拓フェア」を実施した。

また、期間中に講演会を実施した。このフェアは、全木連が出展者として同ホームビルディングショーの会場小間を用意し、関係団体、企業を出展させて、国産材のPRを行ったもの。同ショーはプロ向けの催し物である。同ショーはプロ向けに、協力企業、団体は次のとおり。網走東部・西部流域森林・林業活性化センター、紋別木材協同組合、青森県木材協同組合、東京合板工業組合東北合板工業組合、日本ログハウス協会、岐阜県木材協同組合連合会、(株)アイビックホーム、国産スギ集成材協議会、親和木材工業(株)、ウッドピア松坂協同組合、徳島県木材協同組合連合会、協同



組合くまもと製材、松島木材センター(株)。

講演会は、森林総合研究所の軽部正彦氏(テーマ「なぜ木材を選ぶのでしょうか」)と東京大学の安藤直人氏(テーマ「人と木とすま

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます
林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
- 造林・育林
- 素材生産
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産
- 木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com